

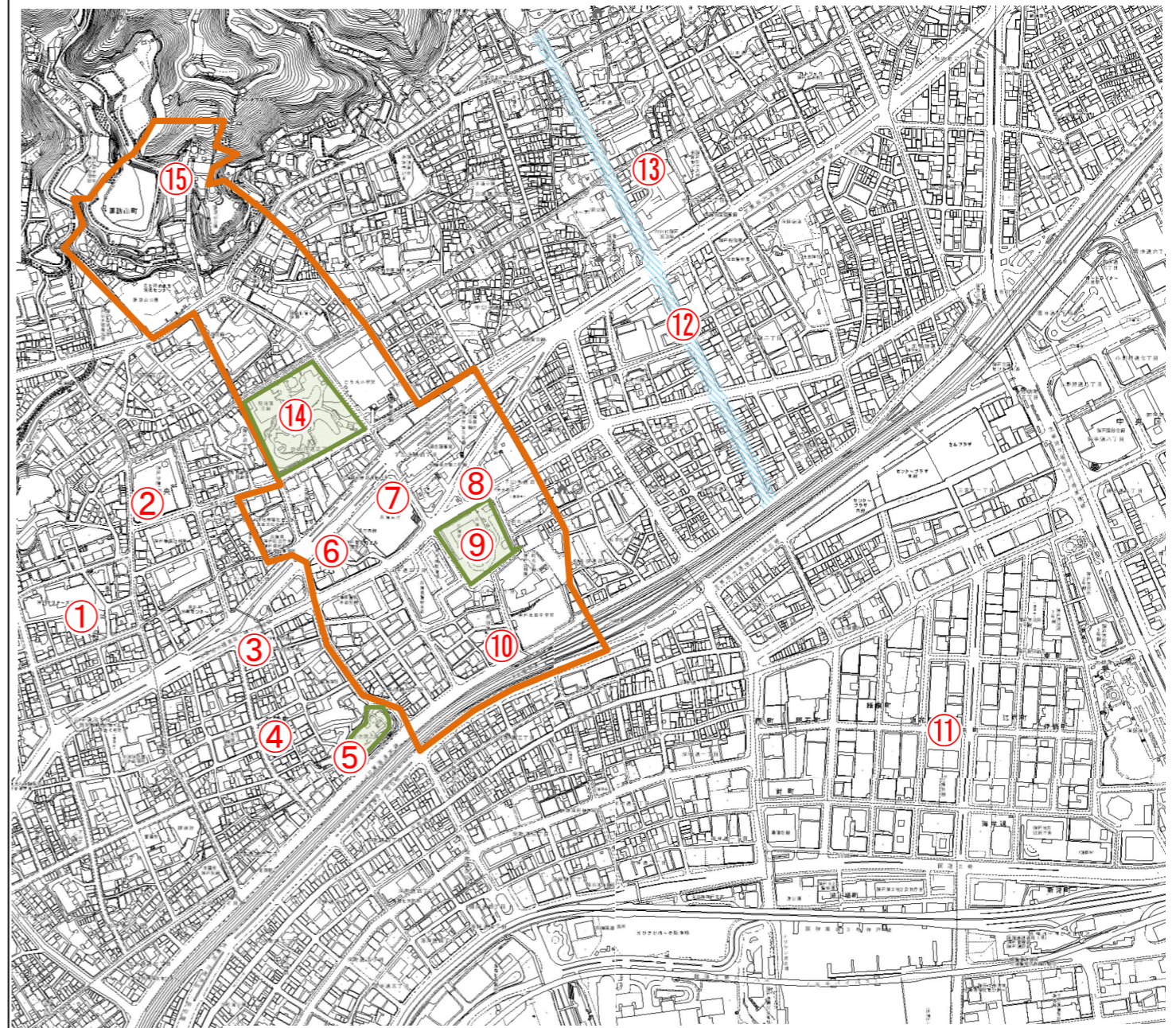
□ 県庁舎・元町山手地区の歴史・地域資源

- 1 元町山手地区の成り立ち**
- 雑居地** 明治元年、居留地整備が遅れたため、外国人住居地として、生田川以西、宇治川以東、山麓まで「雑居地」に指定
 - 山手道路** 明治6年、中山手通、下山手通等の山手新道を整備。明治22年拡幅
 - 路面電車(市電)** 大正10年に山手線が開通
昭和46年に全路線が廃止
 - 東海道線** 明治7年鉄道敷設、三宮駅(現元町駅)設置。昭和6年高架化にともない三宮駅を元町駅に名称変更
 - 戦災復興事業** 戦災復興事業として山手幹線整備

- 2 兵庫県庁舎の変遷**
- 明治元年 初代県庁舎を設置(兵庫区切戸町)
 - 〃 第2代県庁舎を設置(坂本村(現神戸地方裁判所))
 - 明治6年 第3代県庁舎として、山手地区のオランダ領事のホルトスハウス邸を購入し、移転・活用
 - 明治35年 第4代県庁舎(現公館)を、下山手において現地建替
 - 昭和41年 第5代県庁舎として1号館を整備
 - 昭和45年 2号館を整備
 - 平成2年 3号館を整備

3 元町山手地区の地域資源

元町山手地区は、神戸開港後、農村から、外国人の居住、事業所等の立地、道路等の基盤整備が行われる等、神戸の発展と併せて、まちの風景も移り変わり、様々な地域資源が蓄積されている。



【地域資源 一覧】

① 関帝廟	⑧ 栄光教会
② 神阪中華会館旧跡(神戸中華同文学校)	⑨ 兵庫県公館
③ 日本基督教団神戸教会 神戸青年会館	⑩ 福建商業会議所 碑
④ 花隈城の碑(福德寺)	⑪ 居留地
⑤ 花隈城址	⑫ トアロード
⑥ 神戸聖ミカエル教会	⑬ 神戸ムスリムモスク
⑦ 孫文大アジア主義講演会の地	⑭ 相樂園
	⑮ 孫文先生諏訪山潜伏の地

〔参考：元町山手地区の市街地の変遷〕

明治10年

- ・居留地周辺に工場等が立地し、徐々に市街地が形成
- ・明治6年県庁舎を山手に移転。山手新道を整備
- ・明治7年鉄道敷設し、三宮駅(現元町駅)を設置

大正12年

- ・大正10年に県庁舎前経由の路面電車山手線が開通
- ・昭和6年に東海道線が高架化され、三宮駅を元町駅に名称変更し、加納町に新たに三宮駅を設置

明治26年

- ・明治22年、第2次山手新道として道路拡幅整備
- ・明治20年電灯事業開始、明治30年代に水道敷設

昭和30年

- ・戦災、近代的な市街地として復興するため、新しい土地利用計画と街路や公園等の整備が計画
- ・県庁舎周辺では、幅員36mの山手幹線が整備